

「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群 公開講座

いま、世界遺産を考える

世界遺産とは、地球の生成と人類の歴史によって生み出され、将来の世代に引き継いでいくべき人類共通の宝物です。現在、世界遺産では、貴重な文化遺産や自然遺産だけでなく、遺産を取り巻く広範な環境について、有形・無形の文化的要素と自然の双方を保全し、地域の人々を軸におきつつ生態系全体で守っていくことが提唱されています。

本講座では「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群の世界遺産登録に関わった専門家に、それぞれの専門的見地から、事例をもとに世界遺産についてお話しいただきます。人類にとって貴重な文化資源である世界遺産を深く、かつ、多面的に理解することにより、世界遺産が現代社会において果たす役割、そしてこの貴重な資源を我々はどう活かし、次世代に継承していくのか考えます。

会場・アクセス

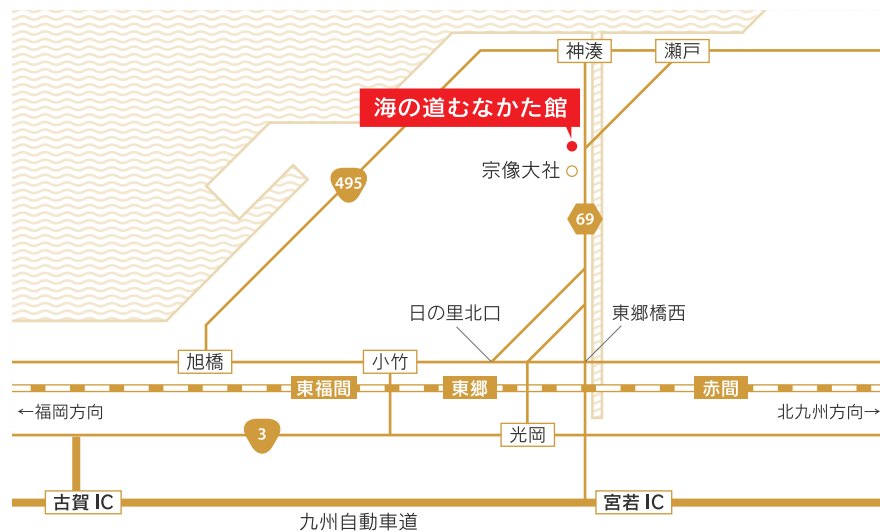
海の道むなかた館 講義室
〒811-3504 福岡県宗像市深田 588 番地
TEL 0940-62-2600 FAX 0940-62-2601

→ 車でお越しの方

九州自動車道若宮インターチェンジから約 30 分
九州自動車道古賀インターチェンジから約 30 分

→ 公共交通機関でお越しの方

JR 東郷駅宗像大社口より西鉄バス「東郷駅前」→「宗像大社前」下車、徒歩 4 分



主催

「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群保存活用協議会
(事務局：福岡県九州国立博物館・世界遺産室)
〒812-8577 福岡市博多区東公園 7-7
TEL 092-643-3162 FAX 092-643-3163
E-mail: sekaiisan@pref.fukuoka.lg.jp

第1回

「世界遺産と考古学
—朝鮮半島の世界遺産を考える—」

定員 50名 [申込開始 令和7年8月16日(土)]

令和7年9月20日(土) 13:30-16:00



西谷 正

九州大学名誉教授、海の道むなかた館 元館長

九州大学名誉教授。「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群専門家会議名誉委員長。九州歴史資料館名誉館長、糸島市立伊都国歴史博物館名誉館長。名誉文学博士。専門は東アジア考古学。朝鮮半島を中心に、東アジアの古代史を比較考古学的手法で研究。主要著作に『魏志倭人伝の考古学：邪馬台国への道』（2009、学生社）など。

第2回

「世界遺産と文化財
—あらためて、沖ノ島を考える—」

定員 50名 [申込開始 令和7年9月20日(土)]

令和7年10月18日(土) 13:30-16:00



三輪 嘉六

国立文化財機構 九州国立博物館 元館長

独立行政法人国立文化財機構九州国立博物館元館長。専門は考古学、文化財学。九州国立博物館の初代館長（2015年まで）。沖ノ島の発掘調査で出土した奉獻品の国宝指定にも関わる。主要著作に『文化財学の構想』（編集）（勉誠出版、2003年）など。

第3回

「世界遺産と文化的景観
—イギリス・オーストラリアの
世界遺産から考える—」

定員 50名 [申込開始 令和7年10月18日(土)]

令和7年11月15日(土) 13:30-16:00



金田 章裕

京都大学 名誉教授

京都大学名誉教授。京都府公立大学法人理事長。京都府立京都学・歴史館館長。元人間文化研究機構機構長。専門は人文地理学。オーストラリア地域研究や日本古代の地理学研究に従事するとともに景観保護の仕組みを作る。主要著作に『大地へのまなざし 歴史地理学の散歩道』（2008、思文閣出版）など。

お申し込み

QRコード(右)から専用フォームにて要事前申込。各回ごとに申し込みが必要です。受講費は無料です。先着順。定員になり次第、締め切ります。参加希望の方は、お早めにお申し込み下さい。全講座は、後日公式HPで動画配信いたします。



第4回

「建築学と世界遺産
—オリエントの世界遺産から考える—」

定員 50名 [申込開始 令和7年11月15日(土)]

令和7年12月20日(土) 13:30-16:00



岡田 保良

日本イコモス国内委員会 委員長

一般社団法人日本イコモス国内委員会代表理事(委員長)として、日本の世界遺産をはじめとし多くの文化遺産の保護に関わる。国士館大学名誉教授。工学博士。専門は西アジア建築史。主要著作に『メソポタミア建築序説—門と扉の建築術—』（共編訳 1985）など。

第5回

「世界遺産学
—世界遺産の歴史からその意義を考える—」

定員 50名 [申込開始 令和7年12月20日(土)]

令和8年1月17日(土) 13:30-16:00



稲葉 信子

筑波大学 名誉教授

筑波大学名誉教授。静岡県富士山世界遺産センター館長。ユネスコ・アンコール遺跡国際調整委員会専門家。専門は遺産論、建築史。日本が世界遺産条約に加盟した1992年から条約の仕事に関わるようになり、条約の運営に関する国際的な議論に参加するほか、国内外の世界遺産の推薦、保存管理の仕事を手伝っている。

第6回

「世界遺産と歴史学
—東アジアの歴史的文脈から—」

定員 50名 [申込開始 令和8年1月17日(土)]

令和8年2月21日(土) 13:30-16:00



佐藤 信

東京大学 名誉教授

東京大学名誉教授。「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群専門家会議委員長。くまもと文学・歴史館館長や横浜市歴史博物館館長。専門は日本古代史。現在進行中の特別研究事業の議長であり、調査研究をはじめ本遺産群の保存管理に深く関わる。主要著作に『日本古代の宮都と木簡』（吉川弘文館、1997）など。